

令和6年度学校評価アンケートの結果と改善策

山形県立楯岡特別支援学校大江校

1 令和6年度学校評価保護者アンケートの実施について

(1) 保護者アンケート「学校生活アンケート」

①実施期間 令和6年12月9日(月)～12月18日(水)

②アンケートの集計方法について

保護者の皆様に記入していただいたアンケート用紙を教頭が直接開封し、集計を行った。

③アンケート項目について

経年における変動が読み取れるように、これまで同様の内容(10項目)とした。

(2) 教員アンケート

①実施期間 令和6年12月13日(金)～12月24日(火)

②アンケートの集計方法 Google Forms のアンケート機能を活用して行った。

2 学校評価アンケートの結果と考察 ※集計結果参照

(1) 学校関係者評価(保護者アンケート)

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)の4段階で評価

①回収率、回答率ともに100%であった。

②全体の平均値は3.68であり前年度と同じであった。

③7項目(項目2、3、4、6、8、9、10)で前年度を上回った。項目1、5、7については前年度を下回ったが、ほとんどの項目が3.5ポイント以上であることから、概ね良い評価をいただいていると捉えている。

<昨年度より評価の数値が上がった項目>

番号	設問内容	評価
2	学校や学級担任はお子さんの教育について、よく話を聞いてくれる。	3.76
3	学校や学級担任は、お子さんの学校での様子をよく伝えてくれる。	3.88
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、生徒の学習の様子が見える。	3.79
6	学校は、お子さんや保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。	3.61
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。	3.76
9	お子さんにとって意義のある交流学习、学校行事、校外学習等の企画運営がなされている。	3.85
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍などについて、地域に情報発信されている。	3.55

<昨年度より評価の数値が下回った項目>

番号	設問内容	評価
1	お子さんは学校に行くことを楽しく思っている。	3.58
5	お子さんにとって、適切な学習目標が設定され、学習内容が「分かる」授業になるよう工夫されている。	3.42
7	清掃や施設整備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。	3.67

④保護者アンケートでは、保護者との対話や、学校の情報発信に関わる項目について比較的高い評価を得ている。これは、学校が保護者との丁寧なコミュニケーションに努めていることや、授業参観、親子行事などを通じた学習の様子を見ていただく機会の確保、作業製品展示会等を通じた西村山地域での情報発信の取り組みなどが良い評価につながったと考えられる。その一方で、学習内容や学校環境に関する項目の評価が下がっており、改善が必要である。

(2) 学校自己評価（教員アンケート）

①昨年度までは、「個人」と「全体」の二つの視点でアンケートを行ったが、今年度は一本化した。

②今年度の総合平均値は 3.46 で前年度の「全体」の総合平均値と比較するとほぼ同じであった（昨年度 3.45）。

③昨年度より上回った項目は 12 項目中 5 項目であった。

＜昨年度より評価の数値が上がった項目＞

番号	設問内容	評価
1	児童生徒が来なくなる、楽しい学校づくりをしている。※生徒指導・いじめ防止・ケース会も含む。	3.50
3	保護者に、共有した学習課題を中心に、児童生徒の学校での様子や成長した姿についてよく伝えている。	3.56
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導を行っている。	3.63
11	授業研究会における助言や教育相談、学校参観等により、地域のセンター的機能を果たしている。	3.56
12	職員のチームワークのもと、連携し支え合い、協働性を発揮して学校運営がなされている。	3.56

④教員アンケートでは、生徒が安心して学べる学校づくりや保護者との連携、地域の特別支援教育におけるセンター的役割などの取り組みについて昨年度より評価が上がっている。また、職員間の連携に関しても上がっており、職員全体で連携して生徒が学ぶためのより良い環境づくりに努めていると捉えることができる。一方で、個に応じた分かる授業の実践に関する項目についての評価が下がっている（今年度 3.13、昨年度 3.22）。個別の教育支援計画・個別の指導計画がうまく活用されていないといった意見も出されており、改善が必要である。

3 改善策

(1) 学校関係者評価（保護者アンケート）

①「分かる」授業の工夫について

生徒一人一人の学びの状況を把握し、これまでに学んできたことを生かしながら、積み重ねて学習ができるようにしていく。また、個々の学びやすい方法に応じて教材や説明の仕方等を工夫する。そのために、生徒ができていることや今後の課題となることを整理して目標を設定するとともに、生徒の学び方の特性に応じた指導方法などを教員間で共有して、効果的に学習できるようにしていく。そして、保護者の方との日常のやり取りや面談などの中で、学習内容や成長の様子などをお伝えするとともに、保護者の方の願いなどを伺いながら、授業の改善を図っていく。

②楽しい学校づくりについて

生徒が今までより上手になったり、できなかったことができるようになったりする体験を通して、自分自身の成長を実感し、学校での学びに充実感をえられるようにする。そのために、学習内容をスモールステップで設定する。また、学校生活全体で教員や友達などから認められる機会づくりにより一層取り組み、学校生活に対する意欲を高めることができるように努める。併せて、安全・安心な学習環境づくりのために、生徒会活動を通して生徒と一緒に取り組むとともに、大江校職員全員で協力して適切な施設管理に努める。

(2) 学校自己評価（教員アンケート）

・「分かる」授業の工夫について

保護者アンケートの改善策にも記述しているとおり、生徒一人一人の学びの状況を踏まえた授業づくりのために、学びの履歴を活用した実態把握と目標設定に取り組む。それを個別の指導計画に反映できるようにすることで、評価と指導の一体化を図り、個々の実態に応じた「分かる」授業を実践する。

4 まとめ 『めざす学校像』の実現に向けて

(1) 「生徒にとって 毎日来るのが楽しい学校」にするために

生徒たちは、毎日一生懸命学習に取り組み、様々なことに挑戦しながら学校生活を過ごしている。そうした子どもたちのがんばりを認めながら、もっとやってみたいと思えるような授業づくりに取り組んでいく。また、生徒たちの悩みや不安に寄り添い、生徒たちの声に耳を傾けることを大事にしていく。そうした生徒たちの様子について職員間で共有し、共通理解を図りながら対応することで、生徒が安心して過ごせる学校づくりに取り組む。(関連項目 保護者アンケート①、⑤、⑨)

(2) 「保護者にとって 安心して任せられる学校」にするために

日頃から、連絡帳やおたよりなどを通して生徒が学習に取り組む様子を中心に、学校に関する情報をお伝えしてきた。また、作文や季節の飾りなどの作品、校外学習のまとめなどを掲示し、授業参観などの際に学習の成果を見ていただけるようにしている。引き続き生徒の学習の様子が見えるような情報発信に努めていく。進路に関しては、保護者と連携して研修会を実施するとともに、進路に関する情報提供を適宜行ってきた。今後も生徒や保護者の願いをお聞きし、卒業後の生活について一緒に考えながら、希望の進路につなげることができるように取り組んでいく。

(関連項目 保護者アンケート②、③、④、⑥、⑦、⑧)

(3) 「地域にとって 信頼して相談できる学校」にするために

地域の小中学校、高等学校などから研修講師や相談の依頼が寄せられた際には、相談担当の教員と速やかに調整し、ニーズに応じて対応するように努めた。また、地域の学校の関係者(保護者・教員)、福祉関係者などを対象とした学校見学を行うとともに、随時の学校見学に対応し、学校の概要や授業の様子について知っていただく機会を設けた。そして、西村山5市町において作業製品展示会を行い、学校関係者以外の方にも学習の様子を発信を行った。今後も、相談などの依頼に対して職員間で情報を共有しながら組織的に対応するとともに、その時々状況に応じて工夫しながら情報発信に努めていく。

(関連項目 保護者アンケート⑩ 教職員アンケート⑩、⑫)

(4) 「教職員にとって 働きやすく働きがいのある学校」にするために

職員間での日常的な情報共有や意見交換を通して意思疎通を図るとともに、必要に応じて互いにサポートし合うなどして、協働的な関係を大事にしながら業務に取り組んでいる。こうした関係性を保ちながら、より安心して働くことができる職場となるよう、職員それぞれの意見や取り組みを互いに認め合い、より良い学校にしていくために必要なことを共に考え、実践していけるように、話し合う時間や授業の準備などに取り組むための時間を確保できるように努めていく。(関連項目 教職員アンケート⑫)

令和6年度 学校関係者評価(保護者アンケート集計結果)

山形県立楯岡特別支援学校大江校

番号	設 問	0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%	% 4段階 3段階 2段階 1段階				R6年度 平均	R5年度 平均
			4段階	3段階	2段階	1段階		
1	お子さんは、学校に行くことを楽しく思っている。		67%	24%	9%	0%	3.58	3.66
2	学校や学級担任はお子さんの教育について、よく話を聞いてくれる。		85%	9%	3%	3%	3.76	3.72
3	学校や学級担任は、お子さんの学校での様子をよく伝えてくれる。		91%	6%	3%	0%	3.88	3.81
4	学習の足跡の掲示や参観の機会などが確保され、児童生徒の学習の様子が見える。		79%	21%	0%	0%	3.79	3.72
5	お子さんにとって、適切な学習目標が設定され、学習内容が「分かる」授業になるように工夫されている。		48%	45%	6%	0%	3.42	3.53
6	学校は、お子さんや保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。		70%	24%	3%	3%	3.61	3.59
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境になっている。		67%	33%	0%	0%	3.67	3.75
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導がなされている。		76%	24%	0%	0%	3.76	3.63
9	お子さんにとって意義のある交流学习、学校行事、校外学習等の企画・運営がなされている。		85%	15%	0%	0%	3.85	3.81
10	本校の教育活動や児童生徒の活躍などについて、地域に情報発信されている。		58%	39%	3%	0%	3.55	3.53
		■ 4 よく当てはまる ■ 3 やや当てはまる ■ 2 あまり当てはまらない ■ 1 当てはまらない					3.68	3.68

※1 アンケートの実施期間は、令和6年12月9日(月)から12月18日(水)まででした。

※2 10の質問項目に対し、4段階で評価していただきました。

(4:よく当てはまる 3:やや当てはまる 2:あまり当てはまらない 1:当てはまらない)

※3 アンケートの回収件数は、33件(33家庭中)でした。

令和6年度 学校自己評価(教職員アンケート集計結果)

山形県立楯岡特別支援学校大江校

番号	内容		4	3	2	1	R6 (平均)	R5 (平均)
1	児童生徒が来なくなる、楽しい学校づくりをしている。※生徒指導・いじめ防止・ケース会も含む。		50.0	50.0	0.0	0.0	3.50	3.33
2	児童生徒の教育について、保護者の声に耳を傾け、児童生徒の学習や生活上の課題を共有している。		56.3	43.8	0.0	0.0	3.56	3.61
3	保護者に、共有した学習課題を中心に、児童生徒の学校での様子や成長した姿についてよく伝えている。		56.3	43.8	0.0	0.0	3.56	3.50
4	学習の足跡の掲示や参観の機会等が確保され、児童生徒の学習の様子が見えるようにしている。		37.5	62.5	0.0	0.0	3.38	3.61
5	個別の教育支援計画・個別の指導計画の作成・評価により、個に応じた「分かる」授業を実践している。		18.8	75.0	6.3	0.0	3.13	3.22
6	児童生徒や保護者の願いに耳を傾け、進路希望の実現や進路情報の提供に努めている。		50.0	50.0	0.0	0.0	3.50	3.50
7	清掃や施設設備の整備がなされ、明るく機能的な学校環境にしている。		43.8	56.3	0.0	0.0	3.44	3.50
8	学校生活の安全が確保され、適切な健康管理・給食指導を行っている。		62.5	37.5	0.0	0.0	3.63	3.56
9	交流及び共同学習、校外学習、学校行事等が、児童生徒にとって意義のある企画・運営になっている。		37.5	62.5	0.0	0.0	3.38	3.39
10	学校や本校児童生徒の理解のための地域社会への情報発信がなされている。		37.5	62.5	0.0	0.0	3.38	3.39
11	授業研究会における助言や教育相談、学校参観等により、地域のセンター的機能を果たしている。		56.3	43.8	0.0	0.0	3.56	3.39
12	職員のチームワークのもと、連携し支え合い、協働性を発揮して学校運営がなされている。		56.3	43.8	0.0	0.0	3.56	3.39
		■ 4:よく当てはまる ■ 3:やや当てはまる ■ 2:あまり当てはまらない ■ 1:当てはまらない	平均				3.46	3.45